

# 女性チャンピオンは史上2人目

## 人馬一体 天羽が優勝

全日本ヤング  
馬術選手権



▲ 見事な騎乗で初優勝を遂げた天羽

全日本総合ヤングジュニア選手権が9月7日から9日まで、山梨県馬術競技場で行われた。

ヤングライダー選手権競技兼JOCジュニアライダーオリンピックカップ(総合馬術競技)で天

羽美穂(経済4・富川高)・ウォンテッド号が大会史上2人目の女性による優勝に輝いた。

相田一善主将(商4・宮城農高)・ミスターグリーン号が3位、島田学(経営4・龍谷高)・ス

タードゥリオル号が5位など、4年次生全員が入賞し、最大の目標である全日本学生大会優勝に向け最高のスタートを切った。

「自信ができました」と言うように、今大会は

天羽の実力が全面に出た。初日の「馬場馬術」では4位と上位に食い込めなかったものの、いつもよりアップダウンの激しい「耐久」ではノミをすで3位。「余力」では、人馬とも疲れがピークに達した中、持ち前のプレッシャーに負けない「力強い」騎乗を見せ、勝利をつかみ取った。

試合後、天羽は「学生生活最後の全日本総合で初めて優勝出来てとてもうれしかったです」と優勝を心から喜んでいった。(山室 綱寛・文2)